



グローバルPBL体験談

実施年度	2021年度
プログラム連番	83
実施形態	オンライン
担当教員	土木工学科 稲積 真哉先生
実施期間	2021年8月23日～8月31日
実施協定校	カセサート大学(タイ) アジア工科大学(タイ) スラナリー工科大学(タイ) ハノイ土木大学(ベトナム)

参加学生体験談（要旨）

社会基盤学専攻

1年生

英語が苦手な私にとって、オンラインでのgPBLは、コミュニケーションを取ることが非常に大変でありました。はじめはzoom上での発言をためらう場面もありましたが、最後には積極的に発言できるようになっていました。とても貴重な経験になりました。

土木工学科

1年生

以前から留学に興味があり、無料で参加できる国際プログラムがあるということで参加しました。英語でのプレゼンを目標としてグループワークを行う中で、海外の学生と交流することができました。

土木工学科

1年生

国際交流に興味があり、参加しました。

プログラムを通して得たことは、海外の人たちと交流することの楽しさ、英語が強力なツールとなるという気付きです。以前の私は、きちんとした英語を話さなくてはという意識が大きかったのですが、完璧な英語でなくてもよいし、タイ語や日本語で会話することだってありだ、と完璧を求めなくてもよいことに気付きました。また、コミュニケーションをするにあたり、英語の有効性を大いに感じ、英語学習への意欲向上とともに、様々な国の人たちとの交流の機会を持ちたいという思いが芽生えました。

参加学生体験談（要旨）

土木工学科

2年生

夏休みに何かしたいと思い、無料であるこのプログラムに参加しました。

講義は少し専門的で理解が難しい部分もありましたが、英語を聞く力が少しついたと思います。また、グループワークは、最初はうまく話せず、相手が話しているのを理解するのでやっとでしたが、最終的には少し話せるようになり、少し成長できたかなと感ずることができました。他には、ベトナムやタイの現状を知ったり、文化に触れたりできて新鮮でした。総合的には、楽しく充実した有意義な9日間が過ごせたと思います。今度は英語力をもっと高めて、また参加したいと思っています。

土木工学科

1年生

芝浦工業大学は長期休暇の期間がだいぶ長いので、ダラダラと夏休みを過ごすのは勿体ない思い、申し込みました。

オンライン上ではありますが、海外になかなか行くことが出来ないこの状況で、海外の人と知り合える機会はとても貴重なものでしたし、会話の節々で、自国との文化の違いを知ることができて面白かったです。

英語を通してコミュニケーションを取ることが殆どでしたが、日本語を教えてあげたり、逆にタイ語を教えてもらったりという経験もできました。充実した1週間を過ごすことが出来たと思います。

参加学生体験談（要旨）

土木工学科

3年生

タイやベトナムの方と海外の大学の教授の研究内容を聞いたり、一緒に今まで大学の授業で学んできたことを活かしながらディスカッションをしたりしました。

普段は分野ごとに学んでいるのですが、このプログラムでは学科で学ぶことを横断的に使う機会があったので、とても良い機会となりました。また、上の学年の人も意見も聞くことができたので、これからの学ぶ意識が変わりました。

土木工学科

3年生

大学生生活で英語に触れていても話す機会がなかったので、このプログラムでは、話す機会が多くありとても貴重な体験になりました。英語を話したいが機会がないという方などは、参加して損はないと思います。

土木工学科

1年生

私は海外に興味があったため、無料で参加できる本プログラムに申し込みました。

本プログラムでは、コロナウイルス収束後の土木工学の役割についてアジアの学生と共に考え、最終的にグループの意見をプレゼンしました。また、午前中に講義を聴き、午後にグループワークという流れで進められました。参加者はおそらく全員が英語を第二言語として使用していたため、難しい単語等は使われず、比較的わかりやすい会話でした。私は最初の国際交流として本プログラムに参加し、自分の課題など多くのことを学ぶことができたので、参加を迷ってるなら参加することをお勧めします。

参加学生体験談（要旨）

土木工学科

1年生

今回のgPBLを通じて、英語で表現する難しさを感じ、より精練した英語力を身に着けたいという気持ちを持つことができました。また、外国の土木学生とのコミュニケーションを通して、他国で課題となっていることや、土木に対する様々な考えを知る機会となり、非常に刺激になりました。

今後、より自分の英語力を鍛えて、またこのようなプログラムに参加していきたいと思いました。

土木工学科

1年生

私は学部1年でgPBLに参加しました。夏休みに予定が余り入っておらず、夏休み中に何かのプログラムに参加したいと思い参加しました。

gPBLを通して土木の研究、主に地盤工学についても学びましたし、プログラムのテーマであったコロナでの土木工学の在り方についてディスカッションし、土木技術をたくさん学びました。

専門についてほとんど知識がなく、英語でプレゼンを聞くのはかなりきつく、理解するのが難しかったです。理解しようとする姿勢が身に付き、今後の英語の勉強への意欲が高まったと思います。

社会基盤学専攻

1年生

オンライン上でしたが、学生主体のフリーセッションが多く盛り込まれていたため、気楽に日常英会話を体験することができたと思います。

参加学生体験談（要旨）

土木工学科

2年生

昨年に引き続き今年もgPBLに参加しました。時間に余裕のある夏休みに開催され、日本にいながら他の国の人と英語で話すことができる貴重な機会だと思い参加を決めました。

当初はオンラインだと言葉の壁が大きいのではないかと不安でしたが、タイやベトナムの方々がゆっくり話してくれたり、パソコン上にタイピングをしてくれたり、優しく教えてくれました。その後、自己紹介やお互いの国の紹介などの会話をしていくうちに、少しずつ話せるようになったので、英語力はあまり必要ないかと思えます。

gPBLに参加して英語力や課題解決能力を上げようという自らの意欲さえあれば、全日程を通して楽しく終わることができるはずです。

また、このgPBLを通して海外に友達を作ることができ、LINEやInstagramなどでずっと繋がることができます。私自身も昨年参加した際にできた友達と今年の夏、オンラインで繋げて色々な話をすることができました。迷っている方は是非参加してみてもいいかなと思います。

社会基盤学専攻

1年生

海外の学生とプレゼンテーションを一緒に作り上げ、英語が苦手な自分でも仲良くなることができ、貴重な体験をすることができました！

参加学生体験談（要旨）

土木工学科

1年生

今回のgPBLへの参加を通して、自分の英語力がどれだけ通用するかを知るためのとても良い機会になりました。また、海外の学生との交流や教授の講義を通して、普段知ることができない海外の土木事業や技術について学ぶ機会にもなりました。

自分の英語力不足によって参加への不安がありましたが、周りのみんなの助けを借りながら自分の考えを発表したり、話し合いに加わっていくことができました。だから、英語力に不安を感じて参加に迷っているならば、絶対参加した方がいいと思います！